

廃棄物焼却施設の排ガス中のD X N類濃度等について



環境省では、平成16年12月1日から平成17年11月30日までの1年間の全国の廃棄物焼却施設（一般廃棄物焼却施設と産業廃棄物焼却施設）における排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果等について調査しており、その結果が公表されました。

この1年間に全国の廃棄物焼却施設から排出されたダイオキシン類の総量は、約135グラムと推計されました。その内訳は、一般廃棄物焼却施設からのものが約62グラム（前年比2グラム減少）、産業廃棄物焼却施設からのものが約73グラム（前年比4グラム増加）でした。これは、昨年の同期間（平成15年12月1日から平成16年11月30日まで）における廃棄物焼却施設からのダイオキシン類の推計排出量約133グラムと同程度です。

また、昨年6月24日に変更した「我が国における事業活動に伴い排出されるダイオキシン類の量を削減するための計画」では、今後、老朽化した施設の更新が行われることを踏まえて、平成22年に、廃棄物焼却施設からの排ガス中のダイオキシン類排出量を平成15年の145グラムに比べ約30%削減することを目指しています。なお、平成17年の実績では平成15年に比べ約7%削減されています。

また、平成12年9月に策定された「我が国における事業活動に伴い排出されるダイオキシン類の量を削減するための計画」では、平成14年度末に廃棄物焼却施設からのダイオキシン類排出量を平成9年に比べ、約92%削減することを目指していましたが、平成15年の実績では約145グラムと約98%削減されており、目標を達成しています。

当社では、発生源試料（排ガス、燃え殻、飛灰、排出水、廃酸、廃アルカリ、汚泥）、環境試料（一般環境大気、土壌、底質、環境水、地下水等）、作業環境、原水、浄水、実験試料などのダイオキシン類の分析が可能です。お気軽に当社営業までご相談下さい。

資料 2006年9月19日付 環境省ホームページ 報道発表資料

機器分析箇所 戸邊真一